

令和5年度行政評価 施策評価票

主管部局・課 企画政策部 地域づくり課

政策目標5 豊かで魅力ある地域づくり/政策9 ひとの力を活かした地域活力の創造・再生

政策分野38 大学等との連携

目指す姿	
多くの人が会津大学をはじめとする高等教育機関で学び、将来にわたって地域で活躍するまち	
施策	
施策番号	名称 施策の内容
施策1	大学等を活かした人口の流入・定着の促進
	地域内高等教育機関の魅力発信・誘致と、高等教育機関等と有効に連携を図ることのできる研究機関等の誘致を図り、知的資源の質の向上と活用を図ることで、人口流入を促進するとともに、卒業後の地域内定着を促進します。
施策2	大学等と地域の連携促進
	地域の重要な知的資源である会津大学をはじめとする高等教育機関と企業、行政などとの連携を促進し、地域課題の解決や地域の活性化、アナリティクス人材等の人材育成などへつなげます。

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況					
	指標名			単位	説明又は計算式
1	卒業後の会津地域内就職者の割合 (会津大学)			%	会津地域内就職者÷就職者 ※「就職者」には家業従事者・起業者を含む
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	最終目標
	目標	25	27	30	40
	実績	5			実績には年度でばらつきはあるが、コンピュータ理工学を専攻した会津大学生は全国から需要が高い人材であり、地域内に受け皿となる企業も少ないと考えられるため、目標の達成には至っていない。
2	卒業後の会津地域内就職者の割合 (会津大学短期大学部)			%	会津地域内就職者÷就職者 ※「就職者」には家業従事者・起業者を含む
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	最終目標
	目標	40	42	44	50
	実績	30			目標達成には至らないが着実に増加している。
3	卒業後の会津地域内就職者の割合 (専門学校)			%	会津地域内就職者÷就職者 ※「就職者」には家業従事者・起業者を含む
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	最終目標
	目標	86	87	88	90
	実績	65			年度でばらつきはあるが、一定以上の水準で推移している。

2 施策の評価

施策1	大学等を活かした人口の流入・定着の促進
今年度の重点方針(方向性)	地域内高等教育機関の魅力発信・誘致と、高等教育機関等と有効に連携を図ることのできる研究機関等の誘致を図り、知的資源の質の向上と活用を図ることで、人口流入を促進するとともに、卒業後の地域内定着を促進します。
取組状況	<p>【1】地域内進学対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28～H30：就職フェアinあいづと係を回りながら、地域内の大学・短期大学・専門学校等による合同学校説明会を開催。 ・R1：合同学校説明会に加え、専門学校の特徴等を紹介する体験コンテンツを充実させた「キャリア★フェス」の開催により、小中学生や保護者の来場が増加した。 ・R2以降：新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、地域内の高等教育機関のPR動画の作成や、地域内での進学・就職の事例をまとめた情報誌の発行を行った。 <p>【2】会津コンピュータサイエンススクール実行委員会負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の中・高校生を対象とした「コンピュータサイエンスサマーキャンプ」の取組を支援し、コンピュータの可能性や楽しさを体験、参加者同士のふれあいの場の提供などにより、会津大学並びに会津地域の魅力を発信した。(平成10年度～)
課題認識と今後の方針・改善点	<p>【1】地域内進学対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内高等教育機関へ入学する地域内出身者は、一定の割合で推移している。また、各学校では、授業や技術体験など、それぞれの特色を活かしたPRに取り組んでおり、地域内の高等教育機関のPRについて、他の取組が行われていることから、令和5年度をもって終了とし、今後は、卒業後の地域内就職の促進に向けて、地域内雇用対策のさらなる推進を図っていく。 <p>【2】会津コンピュータサイエンススクール実行委員会負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進行する中で、会津大学において学生の確保を図るためには、中高生のコンピュータへの関心を高めること、及び会津大学の教育内容や立地の魅力を知ってもらうことが重要である。そうした意味において、毎年60名近い中高生が参加する「コンピュータサイエンスサマーキャンプ」は、非常に有効な取組みとなっており、今後も引き続き開催を支援していく。
施策2	大学等と地域の連携促進
今年度の重点方針(方向性)	地域の重要な知的資源である会津大学をはじめとする高等教育機関と企業、行政などとの連携を促進し、地域課題の解決や地域の活性化、アナリティクス人材等の人材育成などへつなげます。
取組状況	<p>【1】会津大学による地域と連携した研究等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「知の拠点」である会津大学に対し、本市の活性化に向けて新たな産業の創出を促進させるような環境づくりを行うことを目的に奨学寄附を行っている(平成22年度～)。 ・奨学寄附金は、技術革新に挑戦する精神と技術力を持つ創業意識の高い人材の育成を目的とした「会津IT日新館」事業や、先端技術の実証、人材育成、新規産業創出支援などを目的として平成27年10月に供用開始された先端ICTラボLICTiAの取組みなどに活用されている。 ・令和元年度から寄附額を1,500万円に増額。(増額分はスマートシティAiCTと会津大生の交流連携等に活用)
課題認識と今後の方針・改善点	<p>【1】会津大学による地域と連携した研究等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津大学において、本市の奨学寄附金を財源に、新規産業創出に繋がるような人材育成や、技術開発促進に資する研究・支援活動等が行われていることは重要であるが、研究成果の実用化・商品化やベンチャー企業の増加等についてはすぐに成果が現れるものではないため、息の長い取り組みが必要である。 ・令和元年度から実施されているスマートシティAiCTとの交流連携についても継続して支援していく。 ・会津大学の研究成果が企業との共同研究に結び付くよう、PR等について大学を支援していく。

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名
12-2	産学連携推進事業	観光商工部 商工課
13-2	I C T 関連産業集積	観光商工部 企業立地課
13-3	起業支援	観光商工部 商工課

4 施策の最終評価

- ・政策分野38「大学等との連携」の推進にあたっては、「2 施策の評価」に従い取り組むこと。
- ・施策1「大学等を活かした人口の流入・定着の促進」については、地域内高等教育機関における地域内進学割合は、一定割合で推移・定着している傾向にあることから、今後は、卒業後の地域内就職の促進に向けて、地域内雇用対策のさらなる推進を図っていく。
- ・施策2「大学等と地域の連携促進」については、引き続き、会津大学の研究等への支援を通じて、新規産業創出と地域課題の解決、地域活性化を図り、また、行政と会津大学、スマートシティAiCT入居企業等との交流連携の充実を図っていく。

5 事務事業一覧

番号	ロジック モデル	重点 事業	人口減 少対策 ※	SDGs ターゲ ット	事務事業名	次年度 方針	担当部・課
施策1 大学等を活かした人口の流入・定着の促進							
1			柱1	4.4	地域内進学対策	終了	企画政策部 企画調整課
2			柱1	4.4	会津コンピューターサイエンススクール実行委員会負担金	継続	企画政策部 地域づくり課
施策2 大学等と地域の連携促進							
1			柱1	4.4	会津大学地域教育研究等支援事業	継続	企画政策部 地域づくり課

※人口減少対策に資する事業を「第2期 会津若松市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」で定める4つの基本目標に分類して表記しています。

柱1 ICTと既存産業・資源を活用したしごとづくり

柱2 地域の個性を活かした新たなひとの流れの創出

柱3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり

柱4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 大学等を活かした人口の流入・定着の促進

1	事業名	地域内進学対策	法定／自主	自主	
	担当部・課	企画政策部・企画調整課	次年度方針	終了	
	概要 (目的と内容)	目的:地域内への人材の定着促進 内容:地域内での就職を見据えた、高校卒業後の高等教育機関の進学促進を図る	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	1,480	0
所要一般財源			740	0	
		概算人件費	936	0	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・H28～H30:就職フェアinあいづと連携を図りながら、地域内の大学・短期大学・専門学校等による合同学校説明会を開催。 ・R1:合同学校説明会に加え、専門学校の特徴等を紹介する体験コンテンツを充実させた「キャリア★フェス」の開催により、小中学生や保護者の来場が増加した。 ・R2以降:新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、地域内の高等教育機関のPR動画の作成や、地域内での進学・就職の事例をまとめた情報誌の発行を行った。 				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<p>【令和5年度事業終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内高等教育機関へ入学する地域内出身者は、一定の割合で推移している。また、各学校では、授業や技術体験など、それぞれの特色を活かしたPRに取り組んでおり、地域内の高等教育機関のPRについて、他の取組が行われていることから、令和5年度をもって終了とし、今後は、卒業後の地域内就職の促進に向けて、地域内雇用対策のさらなる推進を図っていく。 				
2	事業名	会津コンピュータサイエンススクール実行委員会負担金	法定／自主	自主	
	担当部・課	企画政策部・地域づくり課	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	全国の中・高校生が会津大学でコンピュータサイエンスの魅力学ぶ「コンピュータサイエンスサマーキャンプ」の取組を支援し、コンピュータの可能性や楽しさを学ぶことで創造性を育み、参加者同士の交流の場の提供等で会津大学や会津地域の魅力を発信する。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	700	700
所要一般財源			700	700	
		概算人件費	38	38	
これまでの取組状況 (主な取組と成果)	<p>平成10年度から毎年開催。 平成18年度に地域づくり総務大臣表彰を受賞。 令和2、3年度は新型コロナウイルスの感染防止のため中止。 令和5年度で26回目の開催。</p>				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	<p>少子化が進行する中で、会津大学において優秀な学生の確保を図るためには、中・高校生へのコンピュータへの関心を高めること、及び会津大学の教育内容や会津地域の魅力を知ってもらうことが重要であり、「コンピュータサイエンスサマーキャンプ」を通して、コンピュータサイエンスの楽しさを学び、交流を深めることで、会津大学への進学増加にもつながることが期待できる。本取組は会津地域の魅力を知る機会にもなっており、今後も引き続き開催を支援する。令和5年度は県内及び隣県の高校生を対象者としながら開催する予定。</p>				

施策2 大学等と地域の連携促進

1	事業名	会津大学地域教育研究等支援事業		法定／自主	自主
	担当部・課	企画政策部・地域づくり課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	地域の「知の拠点」である会津大学に対して奨学寄附金の寄付を行うことにより、同大学における本市地域の特性やニーズを踏まえた新たな産業創出の促進に向けた人材育成や研究活動、地域との連携交流活動等の促進を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	15,000	15,000
			所要一般財源	15,000	15,000
概算人件費			38	38	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	平成22年度～ 会津大学地域教育研究等支援事業として会津大学に1,000万円を奨学寄附金として支出（会津IT日新館、先端ICTラボ事業等に充当） 令和元年度から寄付を1,500万円に増額。（増額分はスマートシティAiCTと会津大生の交流連携促進等に活用）				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	【1】奨学寄附金による支援の推進 本市の奨学寄附金を財源とし、新たな産業の創出に繋がる人材育成及び技術開発促進に資する研究等が行われている。研究の実用化・商品化、ベンチャー企業の増加等については、すぐに成果が現れるものではないため、息の長い取り組みとして継続していく。スマートシティAiCTと会津大生の交流連携についても継続して支援していく。				